

【開催案内】東日本支部講演会・ウェビナー：テーマ「ESG」

演題：SSBJなどの非財務情報開示要求が自動車部品メーカーにもたらす影響

講師：Booost株式会社 代表取締役 青井宏憲 氏 ／フェロー 植村哲士 氏

日時：2025年12月3日(水)15:00～16:30

形式：Webセミナー(Zoom)＋面着のハイブリッド

会場：日本自動車部品工業会 701会議室

〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15 部品会館7F

アクセス <https://www.japia.or.jp/access/>

Sustainability
drives Scalability

booost

お申込みについて 視聴をご希望の方は以下の参加申込フォームから必要事項をご入力ください。

参加申込フォーム：<https://www.japia.or.jp/booost/1203/>

申込〆切：11月28日(金)まで

※会場スペースの都合上、会場参加多数の場合は調整させていただきます。

Web参加の方にはご登録をいただいたメールアドレスへ前日までに視聴URLを送信します。

本件に関するお問合せ：JAPIA東日本支部 坪井 tsuboi@japia.or.jp

講演概要・講師略歴：テーマ「ESG」

演題：SSBJなどの非財務情報開示要求が自動車部品メーカーにもたらす影響

講演概要

SSBJによる非財務情報開示基準の策定により、企業は財務情報と並行してサステナビリティ関連情報の開示を求められている。この動きをうけて、自動車メーカーから自動車部品メーカーに対して、Scope3のカテゴリ1（購入製品）の排出量情報要求が行われる。

本講演では、SSBJの概要とScope3開示要請のポイント、財務・非財務の同時開示の流れを整理し、サプライヤーとして求められる対応—自動車LCAを待たずして排出量の可視化、同時開示にむけた取引先連携体制の構築—について、その必要性和、期待されるアクションについて説明する。



2010年よりコンサルティングファームで、スマートエネルギービジネス領域を管掌し、スマートエネルギー全般のコンサルティング経験が豊富。2010年よりこの業界で知見を積み、創エネ、省エネ、エネルギーマネジメントに精通。2015年4月、boost technologies株式会社を設立。Sustainability ERPをローンチし、時価総額5,000億以上のエンタープライズ上場企業を中心に、92ヶ国以上、約2,000社192,000拠点以上（2025年2月時点）の導入を推進。サステナビリティ関連財務情報開示全般の深い知見を持つ。Green×Digital Consortium運営委員。

Boost株式会社 代表取締役 青井宏憲 氏



日系シンクタンクにて、インフラ開発や持続可能な開発に関するプロジェクトを200件以上手がけた後、LSE（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス）で博士号（PhD）を取得。2020年以降は製品のカーボンフットプリントに関するプロダクト開発や欧州環境規制の分析に従事。2025年4月より現職。経済産業省「CBAM対応に関する国内委員会」有識者委員。人口減少と都市政策を研究する国際ネットワーク（SCiRN）にも参画。

Boost株式会社 フェロー 植村哲士 氏